

萌丘東幼稚園
萌丘東保育園 ほいくだより

ひがしっ子 11月

2024



園長コラム

収穫祭へのご参加ありがとうございました。自然体験を重視した保育参観、子育てに繋がるふれあいといったテーマを各年齢で考えて実施しました。楽しく、それでいてこども達の園での様子が伝わった収穫祭になったことと思います。また、開催後は一緒に降園にご協力いただいたこともあり、保育の反省や発表会の準備など、普段何かと時間が取れずにいたことに時間を割くことができました。今後ともよろしくお祈いします。

先日、前年度まんまる農園さんで作った手作り味噌を園児たちと一緒に開封し、早速その日のお味噌汁で使い始めました。実際に作ったり食べたりする経験が、こども達の中で化学反応のように、視野の広がりにつながってほしいと思っています。今年も柔らかい甘みのある味噌となっており、とてもおいしいです。家庭教育学級の行事として、2月8日予定で計画しています。ぜひ多くの方のご参加をお待ちしています。

さて、いよいよ発表会が近づいてきました。先日は人形劇のくぐつさんに園ホールで公演してもらい、こども達も台詞に笑ったり、動きに引き込まれたり楽しい時間になったようです。ここで体験した刺激が発表会につながっていくことでしょう。

0～2歳児クラスの1か月

芝生の上で

子育ては不安だらけです。だからこそ、家族だったり友人だったりのありがたみを感じることも多くあります。園自体に慣れていない保護者も多い0～2歳児クラスです。収穫祭では保育者と一緒に時間を過ごす機会にもなりますから、気兼ねなく相談できるようなきっかけにもなってほしいと思っています。



収穫祭 ひかり組 川上ゆみ

前日まで心配だった天気もウソのような過ごしやすい秋晴れの日、年長最後の収穫祭ができました。

ひよこ組から出来る事の範囲が広がり、親子だけで取り組むことから園の子供達同士で協力して取り組めるようになった事を収穫祭を通して感じる事が出来ました。鎌の使用する方法を真剣に聞き、ルールを守って取り組む姿勢。上手に鎌を使って稲を切れた事の満足した表情は成長を感じ、温かい気持ちになりました。心身の成長の中で子供が集団の中で自分の気持ちをどう受け止めて、他者と関わらなくてはいけない心の葛藤も感じる事が出来ました。家にいる時の表情と園にいる時の表情の違いを見て、子供なりに日々学び成長しているのだと感じました。

一日園で協調性を考えながら頑張った子を受けとめ、温かい心で子供と関わろうと思います。

最後に、子供が三人いますが、一人ひとりが性格も成長過程も違い、同じ母から産まれたはずなのにと困惑する日々です。しみじみ子育ては毎回初心者だなと実感しています。年長生活も残りわずかですが、日々楽しく残りの園生活を過ごして欲しいです。



東園らしい秋

園庭を離れて活動すること多かった11月になりました。園外保育では井頭公園や根本山の自然に触れたり、農園では収穫体験で自然に触れたりして、楽しむこども達の姿がみられました。

収穫に合わせて、調理体験をすることで、より興味の幅が広がっている様子も見られました。保育の代表例の工作と同じように「作って遊ぶ」という良い循環が、「作って食べる」にもあるからですね。農園を活用した東園の保育をより充実したものにしていこうと思います。

